

1. NIPPON DATA2020 実行ワーキンググループ 報告

研究代表者	三浦 克之	(滋賀医科大学社会医学講座公衆衛生学部門 教授 (リーダー))
研究分担者	岡村 智教	(慶應義塾大学医学部衛生学公衆衛生学 教授 (サブリーダー))
研究分担者	岡山 明	(生活習慣病予防研究センター 代表)
研究分担者	尾島 俊之	(浜松医科大学医学部健康社会医学講座 教授)
研究分担者	大久保孝義	(帝京大学医学部衛生学公衆衛生学講座 教授)
研究分担者	門田 文	(滋賀医科大学社会医学講座公衆衛生学部門 准教授)
研究分担者	西 信雄	(医薬基盤・健康・栄養研究所国際栄養情報センター センター長)
研究分担者	由田 克士	(大阪市立大学大学院生活科学研究科食・健康科学講座公衆栄養学 教授)
研究協力者	宮松 直美	(滋賀医科大学看護学科成人看護学講座 教授)
研究協力者	中村 美詠子	(浜松医科大学健康社会医学講座 准教授)
研究協力者	平田 あや	(慶應義塾大学医学部衛生学公衆衛生学教室 助教)
研究協力者	近藤 慶子	(滋賀医科大学社会医学講座公衆衛生学部門 助教)
研究協力者	岡見 雪子	(滋賀医科大学社会医学講座公衆衛生学部門 特任助教)
研究協力者	志摩 梓	(滋賀医科大学博士課程教育リーディングプログラム 大学院生)
研究協力者	山内 宏美	(滋賀医科大学博士課程教育リーディングプログラム 大学院生)
研究協力者	和氣 宗	(滋賀医科大学博士課程教育リーディングプログラム 大学院生)
研究協力者	北岡 かおり	(滋賀医科大学博士課程教育リーディングプログラム 大学院生)

1. 背景と目的

健康日本 21 (第 2 次) の重要課題である健康格差の是正のために、地域格差や世代間格差の抽出が必要である。また、わが国の循環器疾患等生活習慣病予防対策立案には、国民の代表集団である国民健康・栄養調査および循環器疾患基礎調査対象集団を長期間追跡するコホート研究を実施し、刻々と変化する日本国民特有のライフスタイルや社会環境における生活習慣病リスク要因を明らかにする必要がある。

国民健康・栄養調査は、全ての都道府県を網羅する国内唯一の調査である。2020 年 (令和 2 年) 国民健康・栄養調査は拡大調査年であり、通常の 3 倍規模 (約 1 万人) の調査が予定されている。より大規模な最新の国民集団の長期コホート研究 NIPPON DATA2020 を開始することにより、日本国民の新たな生活習慣病リスク要因や地域格差を明らかにし、予防施策の優先順位を提案することができる。

我々は 1980/1990/2010 年国民健康・栄養調査および循環器疾患基礎調査の対象集団、計約 2 万人のコホート研究 NIPPON DATA80/90/2010 の長期追跡研究を継続してきた。1980 年から 2020 年まで 40 年間の国民代表集団のライフスタイルの変化とその生活習

慣病への影響の大きさの変化の知見から、次期国民健康づくり運動策定における優先的課題に関する提言が可能となる。

2. NIPPON DATA2020 実施計画概要

国民健康・栄養調査の拡大調査年である2020年10-11月に全国約500カ所で実施される国民健康・栄養調査の参加者約1万人を対象としたコホート研究NIPPON DATA2020を構築し、長期追跡を開始する。国民健康・栄養調査当日、各調査会場に調査員を派遣し、研究の主旨を説明して研究への参加同意（生活習慣等の調査票、血液・尿検体の凍結保存、長期追跡など）を取得する。

NIPPON DATA2020実施に向けて、①生活習慣等に関する調査票内容の検討、②血液・尿検体測定項目・採取/保存方法の検討、③追跡同意取得・アウトカムについて内容および方法の検討、④調査を円滑に実施するための全国体制の確立、が必要である。

3. 令和1年度の進捗および今後の計画

令和1年度は、昨年に引き続き、①生活習慣等に関する問診調査票内容、②血液・尿検体測定項目・採取/保存方法、③追跡同意取得・アウトカム、④全国調査実施体制の確立を検討し、厚生労働省、全国保健所長会などの関係機関と協議のうえ、NIPPON DATA2020の実施方法をほぼ決定した（資料1）。また、自治体との協働を担う全国の研究協力者と自治体との連携、調査実施体制についてワークショップを行った（令和2年1月31日東京開催）。さらには、全国都道府県の国民健康・栄養調査担当部局への協力依頼を開始した。引き続き自治体への趣旨説明・協力依頼、また、健診機関への協力依頼（調査委託）を行い、全国調査実施体制の整備を行う。

① 生活習慣等に関する問診調査票

昨年度、平成22年に我々が実施したNIPPON DATA2010の調査票項目や国民健康・栄養調査、国民生活基礎調査等の調査票項目の他、今日的な健康課題を意識した新規調査票項目案等、合計84問を列挙し、デルファイ法（第1回）による調査項目の優先順位づけを行った。さらには、全国のNIPPON DATA研究の研究協力者を交えて、NIPPON DATA2010実施に向けてのワークショップを開催、議論した（平成31年2月2日東京開催）。

今年度は、ワークショップの議論をふまえて、改訂案を作成し、再度、デルファイ法（第2回）による優先順位づけを行った（資料2）。結果、現段階、合計41問（大問）を候補とした（資料3）。引き続き、令和2年国民健康・栄養調査の生活習慣調査票の内容が確定次第、内容が重複せぬよう確認のうえ、研究班調査票を最終確定する。

② 血液・尿検体測定項目・採取/保存方法

・血液検体

本研究は、対象者の負担を考慮して独自の採決は行わず、国民健康・栄養調査の残血液検体を凍結保存する。勝来、凍結保管された検体を用いて循環器疾患等に関連する項目を測定する。

現在、全国8割以上の自治体が株式会社SRLに国民健康・栄養調査血液検査項目測定を委託していることから、株式会社SRLに協力を依頼し、国民健康・栄養調査の残血液検体の授受の方法等について打合せを行った。自治体の多くは、例年、8月頃に検査委託先を決定されている。委託先が決定され次第、株式会社SRL以外の検査機関にも協力を依頼する。

・尿検体

測定予定項目：Na, K, Cl, Cre, 蛋白

上記項目を測定後、残尿検体を凍結保管する。

検体採取方法等は、現在、下記の2案について複数の検査機関と打合せ中である。

- (1) 調査会場で採尿容器を配布、参加同意者が自宅で採尿し、検体を送付
- (2) 調査会場で採尿容器を配布、採尿、検体回収

③ 追跡同意取得・アウトカム

昨年に引き続き、アウトカム、追跡方法について議論を行った。結果、本研究参加者のその後の健康状態（循環器疾患等生活習慣病の発症、日常生活活動能力(ADL, QOL)、要介護度を含む）を以下の方法を用いて追跡する。

1. 研究参加者へ年1回程度の郵便あるいは電話等を用いて健康状態の追跡を行う（質問項目は、高血圧や糖尿病、高脂血症等の服薬・治療状況や脳卒中・心筋梗塞等の生活習慣病の発症および治療状況、日常生活活動度等を含む）。
2. 研究参加者が脳卒中・心筋梗塞等の生活習慣病を発症した場合等は、医療記録閲覧・照会、(仮称)循環器疾患登録、がん登録、要介護認定情報等の情報と照合し、本研究のイベント発症定義（診断基準）に合致するかを判定する。
3. 市町村等への住民票請求による生死および転出の追跡を行う。死亡者については、人口動態統計の二次利用申請を行い、人口動態統計の原死因等を用いて死因等の把握を行う。

④ 全国調査実施体制の確立

・全国保健所長会、都道府県への協力依頼

本研究は令和2年国民健康・栄養調査に平行して実施するため、同調査の実施母体となる全国の自治体との連携が必須である。今年度は全国保健所長会理事会にて研究班調査の趣旨を説明し、協力の内諾を得た（資料4）。

自治体との協働を担う全国の研究協力者（地区担当者）と会議を持ち、自治体との連携、調査実施体制について議論した（令和2年1月31日東京開催）。また、全国都道府県の国民健康・栄養調査担当部局に各自治体の国民健康・栄養調査に関する問い合わせ（担当者連絡先、血液検査委託機関、令和2年県民調査実施予定の有無等）を行った。その情報に基づき、各都道府県において、地区担当者から国民健康・栄養調査担当部局への趣旨説明、協力依頼を開始した（資料5,6）。保健所設置市には、令和2年国民健康・栄養調査地区が確定次第、同様に協力を依頼する。

・全国の健診機関等への協力依頼

本研究は令和2年国民健康・栄養調査の会場に研究班調査員を派遣する計画である。同調査は10月-11月の短期間に全国約500地区で一斉に実施されるため、研究班調査員の事前確保が極めて重要である。全国34都道府県に支部を持つ予防医学事業中央会に研究の趣旨を説明し、研究協力（調査実施委託）の承諾を得た（資料7）。引き続き全国の支部に協力を依頼する。また、同会支部のない都道府県については、他の健診機関等に協力を依頼し、全ての調査地区に研究班調査員を派遣できる体制を整える。

・調査実施体制の整備

令和2年国民健康・栄養調査は10月-11月の短期間に全国約500地区で一斉に実施される。調査を円滑に実施するために、調査日程・会場・調査員等の情報管理体制、調査当日の連絡体制等の整備をすすめた。また、研究班調査員向けの調査実施マニュアル、調査員研修会の資料等の作成をすすめた。引き続き、実施体制の整備を行う。

4. 今後の主なスケジュール

- 3月～ 引き続き、地区担当者から都道府県に調査趣旨説明協力依頼
- 6月 調査地区の地区割り内定（厚生労働省）
- 7月 実施母体担当者説明会（最終調査地区の地区割り伝達）（厚生労働省）
同説明会にて、研究班調査の趣旨説明、協力依頼
- 8月 地区担当者から保健所設置市に調査協力依頼、都道府県に補足説明
- 8月～ 実施母体・保健所等と協力健診機関との打合せ
- 10月～11月 調査実施

【滋賀医科大学 NIPPON DATA2020 事務局】

吉田稔美、船木彰子、島村幾代、大原操、北岡かおり、和氣宗、志摩梓、山内宏美、瀬川裕佳、田中佐智子、岡見雪子、近藤慶子、門田文

国民代表集団の長期追跡研究 NIPPON DATA 2020
研究計画概要書

1. 研究の目的と意義

健康日本 21(第2次)の重要課題である健康格差(地域格差や世代間格差)を是正し、また、わが国の循環器疾患等生活習慣病予防対策を立案するためには、国民の代表集団を長期間追跡するコホート研究を実施し、刻々と変化する日本国民特有のライフスタイルや社会環境における生活習慣病リスク要因を明らかにする必要があります。そのため、当研究班は1980/1990年循環器疾患基礎調査および2010年国民健康・栄養調査の対象集団、計2万人超の長期コホート研究 NIPPON DATA80/90/2010を厚労省指定研究として継続してきました。その成果は健康日本 21、標準的な健診・保健指導プログラム、各種学会ガイドライン作成等活用されています。

国民健康・栄養調査は、全ての都道府県を網羅する国内唯一の調査です。2020年(令和2年)国民健康・栄養調査は拡大調査年であり、通常の3倍規模(約1万人)の調査が予定されています。本研究は、同調査の参加者を対象として大規模かつ最新の国民集団の長期コホート研究 NIPPON DATA2020を開始し、日本国民の新たな生活習慣病リスク要因や健康格差を明らかにし、予防施策の優先順位を提案することを目的としています。NIPPON DATA2020の実施により1980年から2020年まで40年間の国民代表集団のライフスタイルの変化とその生活習慣病への影響の大きさの変化を明らかにし、次期国民健康づくり運動策定における優先的課題に関する提言が可能となります。

2. 研究責任者及び研究組織

研究代表者

三浦 克之 滋賀医科大学社会医学講座公衆衛生学部門 教授

研究分担者

大久保孝義 帝京大学医学部衛生学公衆衛生学講座 教授

岡村 智教 慶應義塾医学部衛生学公衆衛生学 教授

岡山 明 合同会社生活習慣病予防研究センター 代表

奥田奈賀子 人間総合科学大学健康栄養学科 教授

尾島 俊之 浜松医科大学健康社会医学講座 教授

門田 文 滋賀医科大学社会医学講座公衆衛生学部門 准教授

喜多 義邦 敦賀市立看護大学看護学部 教授

西 信雄 国立研究開発法人医薬基盤・健康・栄養・研究所国際栄養情報センターセンター長

早川 岳人 立命館大学衣笠総合研究機構 地域健康社会学研究センター 教授
宮本 恵宏 国立研究開発法人 国立循環器病研究センター予防健診部 部長
由田 克士 大阪市立大学大学院生活科学研究科食・健康科学講座 教授

顧問

上島 弘嗣 滋賀医科大学アジア疫学研究センター 特任教授
児玉 和紀 放射線影響研究所 主席研究員

NIPPON DATA2020 研究事務局

〒520-2192 滋賀県大津市瀬田月輪町

滋賀医科大学 アジア疫学研究センター内 NIPPON DATA2020 研究事務局

電話 077-548-2476 FAX 077-543-4800

事務局長 門田 文

3. 研究方法

本研究では、全国 475 箇所地区において令和 2 年国民健康・栄養調査に参加する 20 歳以上の成人男女を対象として、循環器ならびに生活習慣病関連の調査を令和 2 年国民健康・栄養調査実施時に並行して実施する。そして、対象者の調査後の健康状態(脳卒中、心筋梗塞、心不全、糖尿病、腎臓疾患、高血圧、脂質異常症の発症、日常生活活動能力(ADL,QOL)、各死因別死亡を含む)を最長 30 年の長期間にわたり追跡調査する。

(1) 対象者

令和 2 年度に全国 475 地区で実施される国民健康・栄養調査に参加する 20 歳以上の成人男女を本研究の調査対象者とする。

国民健康・栄養調査を受検した年齢 20 歳以上の成人男女のうち本調査説明書による本調査の趣旨、方法、利益と不利益を理解した上で本調査に使用される同意書に自筆をもって参加の意思を表明した受検者を研究参加者とする。

(2) 調査内容

本研究は、令和 2 年国民健康・栄養調査に並行して、循環器ならびに生活習慣病等に関する質問票、尿検査(ナトリウム、蛋白等)を実施する

① 実施時期

令和 2 年年 10-11 月

全国 475 地区の国民健康・栄養調査の実施日にて実施

② 実施場所・対象者数

全国 475 地区

各実施場所において 10-30 人程度(最大 50 世帯の成人)

参考:平成 28 年国民健康・栄養調査(拡大調査年)血液検査実績:全国計 11,391 人

③ 本調査は以下の項目について問診・検査等を行う

1. 健康状態や生活習慣等に関する問診(自記式)
2. 尿検査(Na、K、Cl、Cre、蛋白)
3. 国民健康・栄養調査の残血液検体を凍結保存する(追加採血や余分な採血は行わない)。将来、凍結保管された検体を用いて循環器疾患等に関連する項目を測定する。
4. なお、上記、問診内容や血液検体の測定項目については国民健康・栄養調査の調査項目と重複しないよう留意する。

④ 調査員の配置ならび調査員の研修会実施について

研究班と守秘義務等に関する契約書をかわした健診機関等に調査を委託する(各調査地区 2 名程度を予定している)。研究班より委託した健診機関の職員等は研究班の調査員として調査にあたる。調査員は研究班が行う研修会を終了した者とし、本研究の趣旨説明、同意取得、問診、等を行う。

⑤ 都道府県・政令市との連携

本研究調査の対象者は国民健康・栄養調査の参加者である。各調査場所の設定は都道府県・政令市(担当保健所)が行うため、国民健康・栄養調査と本調査の同時実施のための調整を担当保健所と十分に連携・協力して進める。都道府県・政令市への本調査の意義や実施内容詳細の説明等は、本研究班中央事務局が中心となり、厚生労働省での都道府県担当者会議が終了したのちに可及的すみやかに行う。

⑥ データの取り扱いおよび結果返しについて

本研究参加者に対しては調査実施後、今後の健康作りに役立てていただけるように、尿検査結果および生活習慣に関するアドバイス等を研究班より送付する。なお、本研究に必要な項目のうち国民健康栄養調査実施項目については二次利用の申請を行い、後日、厚生労働省よりデータを開示いただく。

(3) 令和 2 年国民健康・栄養調査との結合

令和 2 年国民健康・栄養調査の二次利用を申請し、本研究参加者について、国民健康・栄養調査と本研究調査の調査結果の統合を行う。

(4) 追跡調査の方法

本研究参加者のその後の健康状態(循環器疾患等生活習慣病の発症、日常生活活動能力(ADL、QOL)、要介護度を含む)を以下の方法を用いて追跡する。

1. 研究参加者へ年 1 回程度の郵便あるいは電話等を用いて健康状態の追跡を行う(質問項目は、高血圧や糖尿病、高脂血症等の服薬・治療状況や脳卒中・心筋梗塞等の生活習慣病の発症および治療状況、日常生活活動度等を含む)。
2. 研究参加者が脳卒中・心筋梗塞等の生活習慣病を発症した場合等は、医療記録閲覧・照会、(仮称)循環器疾患登録、がん登録、介護認定情報等の情報と照合し、本研究のイベント発症定義(診断基準)に合致するかを判定する。
3. 市町村等への住民票請求による生死および転出の追跡を行う。死亡者については、人口動態統計の二次利用申請を行い、人口動態統計の原死因等を用いて死因等の把握を行う。

4. 倫理的配慮

本研究計画は、「人を対象とする医学系研究に関する倫理指針」に従って作成されている。本研究は「人を対象とする医学系研究に関する倫理指針」に基づき、調査対象者に文書による説明を行い、研究参加同意を得る。また事前に滋賀医科大学倫理委員会に申請し承認を得る。

5. インフォームドコンセント

インフォームドコンセントは研究班が主催する研修会を終了した分担研究組織あるいは研究班が委託した健診機関の職員がこれを行う。分担研究組織の職員については研修会終了後、研究責任者に対して守秘義務等の誓約書を、委託健診機関に関しては健診機関より研究班に対して守秘義務等の誓約書を提出するものとする。

本研究の調査員は本研究調査の対象者に対して本研究の目的を説明し、以下の項目について研究への参加同意を書面にて取得する。同意取得の際は研究協力の任意性及び撤回の自由についての説明も行う。同意書および同意撤回書の書式および項目については別紙に定める。

1. 本研究調査への参加同意取得
 1. 本研究において実施する追加検査(問診票、尿検査)実施および血液検体凍結保存の承諾
 2. 国民健康・栄養調査内容の二次利用に関する承諾
2. 追跡調査への参加同意取得
 1. 年 1 回の郵便または電話による健康状態追跡調査の実施(脳卒中・心筋梗塞等の生活習慣病の発症および治療状況、日常生活活動度など)
 2. 脳卒中・心筋梗塞等の生活習慣病の発症時の医療記録閲覧・照会、循環器疾患登録、がん登録、介護認定情報等の情報との照合等
 3. 住民票取得による生死・転出の追跡、および、人口動態統計データによる死因の把握
3. 研究協力の任意性及び撤回の自由について以下の内容について説明を行う
 1. 本研究への参加の同意は対象者の自由意思により決定される。

2. 本研究参加者は、参加後であってもいつでも同意を撤回することができる。
3. また本研究に同意しなくとも、調査対象者が不利益を被ることはない。

4. 研究参加同意撤回時の対処

研究参加同意の撤回は所定の参加同意撤回文書に記載し、中央事務局へ提出していただく。中央事務局は参加者個人の氏名や連絡先(住所、電話番号等)などの個人識別情報及び、検査所見等の個人情報は電子媒体によるもの、紙媒体等によるものを問わず復元不可能な形で破棄を行う(ただし、参加同意撤回の意志が文書で中央事務局に提出された時点ですでに匿名化されたデータに関しては除く)。また、その時点で、追跡調査を中止する。

6. 予想される危険性・問題への対応

本研究では個人情報を取扱うため、情報漏洩の可能性が生じるが、個人情報の管理は本研究計画書に従い、厳重に行い情報漏えいがないように十分に配慮する。個人情報の保護については本研究計画書に別途詳細に記す。なお、本調査では参加者の国民健康栄養調査で行う採血の残余検体を用いて将来、追加の血液検査を行う。追加採血は一切行わない。

7. 個人情報の保護

(1) データの保管方法

個人の特定が可能な個人識別情報と尿検査、あるいは国民健康栄養調査の検査結果などの検査データ等の個人情報とは別々に管理する。また個人情報は個人識別情報と連結可能な個人 ID を付与して ID にて管理を行う。個人識別情報は追跡終了後に、電子媒体によるもの、紙媒体等によるものを問わず復元不可能な形で破棄を行う。

(2) データの保管媒体の安全管理方法

全ての電子データは外部から隔離された滋賀医科大学内のサーバーにて保管する。電子データは暗号化し、研究代表者および研究代表者が指名したもの以外がアクセスできない。また管理しているサーバーへのアクセスおよびデータへのアクセスはすべて記録を取り、不正がないかについて定期的に監査を行う。また機器の故障等に備えて定期的に電子データのバックアップを行うが、これらのデータについてもすべて管理番号を設定し、中央事務局内の施錠できる施設で管理する。紙媒体の情報については滋賀医科大学中央事務局の施錠できる施設で厳重に管理する。

(3) 利用目的の変更時の対処方法

新たな共同研究、追跡内容の変更等の変更点があった場合は倫理委員会の承認後に実施する。

8. 研究成果の公表等

本研究は追加問診・検査項目及び国民健康・栄養調査、国民生活基礎調査より提供されたすべての問診・検査項目の相互の関係について、あるいはそれらと追跡調査による循環器疾患等の生活習慣病の発症、死因、ADL 低下等の項目との関係についてのすべての組み合わせにおいて関連を検討する。また、これらの内容について個人が特定できない形で学術雑誌、学会等においてこれらを発表、報告を行う。研究成果については厚生労働省等の研究支援機関にも提供を行い国民の健康および福祉の向上のために有効に活用を行っていく。またこの内容に関しては年一回程度発行を予定しているニュースレターやホームページ等で公表し研究参加者に還元を行う。

9. 今後の共同研究等

本調査データは同意書の範囲内の項目において、将来、共同研究で連結不可能匿名を行った調査データの必要な項目について本研究班からこれを提供し新たな共同研究を行うことがある。この場合は、研究班は共同研究先とデータの守秘および目的外使用の禁止や破毀等の方法を定めた誓約書を共同研究先と交わすものとする。この場合は研究班は速やかにその事実をホームページ等で公表するものとする。研究協力者に接触をする追加研究、共同研究については、倫理委員会の承認を得てこれを行うものとし、またその際には研究協力者に研究内容について周知し、調査内容の返信あるいは同意書の返信等の方法によって同意を得る。

10. 費用負担

厚生労働行政推進調査事業費補助金循環器疾患・糖尿病等生活習慣病対策総合研究事業「新旧（1980-2020年）のライフスタイルからみた国民代表集団大規模コホート研究：NIPPON DATA80/90/2010/2020（H30-循環器等-指定-002）」等の研究資金によって実施する。研究参加者自身の費用負担は発生しない（移動時の交通費は参加者の自己負担とする）。

11. 知的所有権に関する事項

本研究により知的所有権が生じた場合は、その権利は本研究班に属し、研究参加者には属さない。

12. 研究期間

滋賀医科大学倫理委員会承認後より開始とし、追跡期間は2050年3月までを予定している。

この研究計画は研究費の受け入れ状況、社会的状況などを勘案しつつ5年を置かない期間で一度、見直しを行うものとする。この研究計画内容及び同意内容を逸脱する変更については倫理委員会に諮り、研究広報ホームページおよび参加者レター等で研究協力者に周知を行う。

13. 研究計画書等の開示

本研究の参加者は、希望する場合に研究計画の内容を見ることができる。

以上

大分類	細分類	(旧)問 い番号	(新)問い 番号	質問	選択肢	平均スコア	←採択を推奨			←採択を推奨			←採択を推奨												
							9	8	7	6	5	4	3	2	1	9	8	7	6	5	4	3	2	1	
生活習慣	飲酒	問13	問19	あなたは週に何日位お酒(清酒、焼酎、ビール、洋酒など)を飲みますか。 (問19-1) お酒を飲む日は1日あたり、どれくらいのお酒を飲みますか。(清酒に換算して下さい。) 清酒1合(180ml)は、次の量にほぼ相当します。 ビール・発泡酒中瓶1本(約500ml)、焼酎20度(135ml)、焼酎25度(110ml)、焼酎35度(80ml)、チューハイ(350ml)、ウィスキーダブル1杯(60ml)、ワイン2杯(240ml)	1 毎日	8.9	11	1	0	0	0	0	7	2	2	0	0	0	0	0					
					2 週5～6日																				
					3 週3～4日																				
					4 週1～2日																				
					5 月に1～3日																				
					6 やめた(1年以上やめている)																				
生活習慣	生活習慣	問14	問20	あなたはこれまでに健康診断等で肝機能障害を指摘されたことがありますか。 【191008改訂】 その原因は何と考えていますか(医師から説明を受けた場合は、その原因を教えてください)。 【191008改訂】	1 ある	6.8	4	1	3	1	2	0	0	0	1										
					2 ない																				
					3 わからない																				
					1 ウイルス性肝炎																				
					2 飲酒																				
					3 脂肪肝																				
4 悪性腫瘍																									
5 その他(自由記述:)																									
生活習慣	飲酒	問15	問21	あなたの飲酒が原因で、これまでにあなた自身か他の誰かがケガをしたことがありますか。 あなたは今までにお酒を飲んだことがありますか。 【はい】と答えただ方におたずねします。 (問22-1) お酒を飲み始めて1～2年のころ、ビールコップ1杯(180ml)程度の飲酒で、すぐに顔が赤くなりましたか。 (問22-2) 現在、ビールコップ1杯程度の飲酒で、頭痛や吐き気、動悸がしますか。	1 過去から現在にかけて継続的に受けている	5.6	0	0	5	1	5	0	0	1	2	0	0	4	2	1	2	0	0		
					2 過去に中断したことがあるが、現在は受けている																				
					3 過去に受けたことがあるが、現在は受けない																				
					4 これまでに治療を受けたことがない																				
					1 ある																				
					2 ない																				
生活習慣	飲酒	問15	問22	あなたは今までにお酒を飲んだことがありますか。 【はい】と答えただ方におたずねします。 (問22-1) お酒を飲み始めて1～2年のころ、ビールコップ1杯(180ml)程度の飲酒で、すぐに顔が赤くなりましたか。 (問22-2) 現在、ビールコップ1杯程度の飲酒で、頭痛や吐き気、動悸がしますか。	1 はい	6.3	4	2	1	0	1	1	2	0	1	2	0	1	4	1	0	3	0	1	0
					2 いいえ																				
					1 はい																				
					2 いいえ																				
					3 わからない																				
					1 はい																				
2 いいえ																									
3 わからない																									
生活習慣	生活習慣	問15	問22	あなたは今までにお酒を飲んだことがありますか。 【はい】と答えただ方におたずねします。 (問22-1) お酒を飲み始めて1～2年のころ、ビールコップ1杯(180ml)程度の飲酒で、すぐに顔が赤くなりましたか。 (問22-2) 現在、ビールコップ1杯程度の飲酒で、頭痛や吐き気、動悸がしますか。	1 はい	5.9	2	3	1	1	1	1	2	0	1	2	0	1	5	1	0	3	0	1	0
					2 いいえ																				
					3 わからない																				
					1 はい																				
					2 いいえ																				
					3 わからない																				
生活習慣	生活習慣	問15	問22	あなたは今までにお酒を飲んだことがありますか。 【はい】と答えただ方におたずねします。 (問22-1) お酒を飲み始めて1～2年のころ、ビールコップ1杯(180ml)程度の飲酒で、すぐに顔が赤くなりましたか。 (問22-2) 現在、ビールコップ1杯程度の飲酒で、頭痛や吐き気、動悸がしますか。	1 はい	5.8	2	3	0	1	2	1	2	0	1	2	1	2	3	1	2	3	0	1	0
					2 いいえ																				
					3 わからない																				
					1 はい																				
					2 いいえ																				
					3 わからない																				

生活習慣	食事	問1	問31	(問30-1) 禁煙した理由を選んでください。 い。	新規	7.8	4	4	4	3	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0
生活習慣	食事	問1	問31	(問30-2) 禁煙した方法 あなたはふだん朝食、昼食、夕食をそれぞれ週何回食べますか。 【191008改訂】	新規	7.6	4	2	4	1	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0
生活習慣	食事	問2	問32	①あなたは普段の食事では1日あたり「あと一皿程度野菜を増やせますか」 ②(いいえと回答した人に)増やせない理由について次の選択肢からあてはまるものをすべて選択してください。 【191008改訂】	国調	6.6	2	2	3	4	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
生活習慣	食事	問2	問32	①あなたは普段の食事では1日あたり「あと一皿程度野菜を増やせますか」 ②(いいえと回答した人に)増やせない理由について次の選択肢からあてはまるものをすべて選択してください。 【191008改訂】	国調	5.4	3	0	2	2	0	2	1	0	1					
生活習慣	食事 カフェイン 飲料の飲用 状況	問20	問33	あなたはふだん次の飲物をそれぞれどのくらい飲みますか。 コーヒー 紅茶 緑茶 コーラなどの炭酸飲料 【191008改訂】	新規	5.8	1	2	3	3	0	1	0	1	0	1	0			
生活習慣	食事 甘味飲料 (SSB)の	問21	問34	上と統合 【191008改訂】	新規	1.2	0	1	0	1	0	0	0	0	0	0	0			
生活習慣	食事 サプリメント (栄養補助食品)の 使用実態	問22	問35	最近1年以上にわたって1週間に1回以上の頻度でビタミン剤、カルシウム剤、ミネラル剤などのサプリメントをとっていますか。 ※燕字部分以外はJ-MICCと同じ聞き方 【191008改訂】	新規	6.6	1	5	2	2	0	0	1	0	1	0	1	0	1	0

大分類	細分類	(旧)問 い番号	(新)問 い番号	質問	選択肢	平均スコア	←採択を推奨			←採択を推奨			←採択を推奨													
							9	8	7	6	5	4	3	2	1	9	8	7	6	5	4	3	2	1		
生活習慣				<p>最近1年以上にわたって1週間に1度以上の頻度で健康食品（クロレラ、ローヤルゼリーなど）をとっていますか。 ※J-MICCと全く同じ聞き方 【191008改訂】</p>	<p>1 とっている</p> <p>2 とっていない</p> <p>3 わからない</p> <p>【191008改訂】</p>	6.2	0	3	4	3	0	0	1	0	1	0	4	2	1	0	2	0	0			
					<p>（問35-2） 一月間の費用を記載ください。 （合計）</p>	<p>〇〇円（カテゴリで選択）</p>	4.9	0	2	2	2	2	1	0	0	3	0	2	2	3	0	1	0	1	0	1
					<p>サプリメントや健康食品をとっている理由について次の選択肢からあてはまるものすべてを選択してください。 【191008改訂】</p>	<p>1 不足している栄養素を補給するため</p> <p>2 治療や症状を緩和するため</p> <p>3 健康の維持増進のため</p> <p>4 疾病の予防のため</p> <p>5 老化予防のため</p> <p>6 美容のため</p> <p>7 ダイエット</p> <p>8 その他</p> <p>【191008改訂】</p>	5.0	1	1	2	2	3	0	0	2	0	3	1	2	3	0	2	0	0	0	
		問23	問36	<p>食事を用意するための買い物についておたずねします。 買い物に不便を感じていますか。 【191008改訂】</p>	<p>1 はい</p> <p>2 いいえ</p> <p>【191008改訂】</p>	6.4	1	4	5	0	0	0	0	0	1											

大分類	細分類	(旧)問 い番号	(新)問い番 号	質問 質問	選択肢	平均スコア	←採択を推奨			←採択を推奨			←採択を推奨			前回の結果 不採択を推奨→								
							9	8	7	6	5	4	3	2	1		9	8	7	6	5	4	3	2
生活習慣	健康行動	問16	問54	薬を飲み始める事・追加する事に抵抗感がありますか。	1 ない 2 少し抵抗がある 3 強い抵抗がある	4.6	1	2	0	2	0	2	1	2	0	3	0	1	5	1	1	0	0	
							2	2	5	1	0	0	0	2	1	4	1	3	1	1	0	0	0	0
生活習慣	スマホ・タブレット・PCの使用有無と使用時間	問17	問55	スマホ・タブレット・PCを使用していますか。 (問55-1)使用時間数を選んでください。	1 はい 2 いいえ 3 不明 ○○時間 (カテゴリで選択)	5.7	1	0	4	4	1	0	0	2	0	4	1	4	1	1	0	0	0	
							2	1	3	2	2	0	1	0	2	1	3	1	4	1	1	0	0	0
生活習慣	スマホとPCによるゲーム実施状況	問18	問56	スマホまたはPCによるゲーム実施の頻度と時間	1 新規 2 国調	5.4	1	1	3	2	2	0	1	0	2	1	3	1	4	1	1	0	0	0
							2	1	3	1	2	1	1	0	2	1	3	1	4	1	1	0	0	0
生活習慣	ゲームやジャンル実施状況	問19	問57	スマホの課金ゲームやパチンコ、スロット、競馬、競艇の実施頻度と時間	1 新規 2 国調	5.3	1	1	3	1	2	1	1	0	2	1	3	1	4	1	1	0	0	0
							2	1	3	1	2	1	1	0	2	1	3	1	4	1	1	0	0	0
生活習慣	歯科	問7	問58	あなたは歯の健康づくりのために、次の器具を使用していますか。	1 歯ブラシ 2 歯間ブラシ 3 舌ブラシ 4 デンタルフロス・糸 (付) ようじ 5 使用していない (ゆすぐのみなど)	7.3	3	2	5	1	0	0	1	0	0	2	3	3	1	0	1	1	0	0
							4	1	5	2	0	0	0	0	0	3	4	3	0	0	1	0	0	0
生活習慣	歯科	問8	問59	自分の歯は何本ありますか。(親知らず、入れ歯、ブリッジ、インプラントは含みません。さし歯は含みます。)	自分の歯は○○本ある	7.6	4	1	5	2	0	0	0	0	0	3	4	3	0	0	1	0	0	0
							2	2	3	1	0	1	2	0	1	3	2	3	1	1	2	0	0	0
生活習慣	歯科	問9	問60	あなたは食べ物や飲み物が飲み込みにくく感じたり、食事中にむせたりすることがありますか。	1 頻繁にある 2 ときどきある 3 めったにない 4 まったくない	6.0	2	2	3	1	0	1	2	0	1	3	2	3	1	1	2	0	0	0
							2	1	1	1	0	1	4	1	1	2	0	0	0	0	0	0	0	
生活習慣	健康知識	問28	問61	健康寿命とは、「日常的に介護を必要としないで、自立した生活ができる生存期間」のことです。あなたはこの「健康寿命」という言葉を知っていますか。	1 言葉も意味も知っていた 2 言葉は知っていたが、意味は知らなかった 3 言葉も意味も知らなかった (今回の調査で初めて聞いた場合を含む)	4.8	2	1	1	1	0	1	4	1	1	2	0	0	4	3	1	1	0	0
							2	1	1	1	0	1	4	1	1	2	0	0	0	0	0	0	0	

生活習慣	健康知識	問28	問62	脳卒中の症状について知っているもの全てに○をつけて下さい。	1 突然、片方の手足や顔半分の麻痺・しびれが起こる 2 両手の指先がしびれる 3 突然、ろれつが回らなくなったり、言葉が出なくなったり、他人の言うことが理解できなくなる 4 突然、経験したことのない激しい頭痛がする 5 突然、鼻血が出る 6 突然、力はあるのに立てなくなったり、歩けなくなったり、フラフラする 7 急に、発熱する 8 突然、左側の肩が痛くなる 9 突然、息が苦しくなる 10 突然、片方の目が見えなくなったり、物が二つに見えたり、視野が半分にかける	ND2010	6.8	1	1	8	1	0	0	1	0	0	1	0	0
生活習慣	健康知識	問29	問63	心筋梗塞の症状について知っているもの全てに○をつけて下さい。	1 突然胸や背中に強い痛みを感じる 2 息が苦しくなる 3 激しい頭痛がする 4 鼻血が出る 5 突然、意識を失う	ND2010	6.3	1	1	7	1	0	0	1	0	1	0	1	0
生活習慣	健康知識	問30	問64	高血圧の原因として正しいと思うもの全てに○をつけて下さい。	1 肥満 2 運動不足 3 喫煙 4 塩分の摂りすぎ 5 野菜や果物の不足 6 お酒の飲み過ぎ 7 睡眠不足 8 牛乳の飲み過ぎ 9 緑茶の飲み過ぎ	ND2010	6.9	1	3	6	0	1	0	1	0	0	3	2	3
生活習慣	健康知識	問31	問65	心筋梗塞または脳卒中の原因として正しいと思うもの全てに○をつけて下さい。	1 高血圧 2 高コレステロール血症 3 糖尿病 4 痛風（高尿酸血症） 5 肝機能障害（脂肪肝） 6 喫煙 7 不整脈 8 腎障害（蛋白尿） 9 貧血 10 HDLコレステロール（善玉コレステロール）低値	ND2010	7.3	2	3	6	0	0	0	1	0	0	3	2	3

大分類	細分類	(旧)問 い番号	(新)問い番 号	質問	選択肢	平均スコア	←採択を推奨			←採択を推奨			←採択を推奨												
							9	8	7	6	5	4	3	2	1	9	8	7	6	5	4	3	2	1	
生活習慣	健康知識	問52	問66	糖尿病について以下の記述は正しいと思いませんか。 1 正しい食生活と運動習慣には、糖尿病予防の効果がある 2 糖尿病は成人の失明の原因となる 3 糖尿病は腎臓病の原因となる 4 糖尿病の人は傷が治りにくい	ND2010	5.8	1	3	3	0	1	2	0	1	3	2	1	2	1	1	1	0	0		
							2	0	1	1	2	0	1	3	2	1	2	1	1	0	0	0	1	0	0
生活習慣	健康知識	問36	問67	れまでに脳卒中(脳梗塞、脳血栓、脳塞栓、脳出血、くも膜下出血)を発症したことがありませんか。 (問67-1) 「はい」と答えた方におたずねします。 脳卒中を発症した際、片方の手足や顔半分の麻痺・しびれ、突然の言葉のもつれ、突如の激しい頭痛やふらつき等の症状がありましたか。	ND2010	6.7	1	あ	あ	あ	あ	あ	あ	あ	あ	あ	あ	あ	あ	あ	あ	あ			
							2	な	な	な	な	な	な	な	な	な	な	な	な	な	な	な	な	な	な
ADL	ADL	問6	問68	あなたは食事、排尿・排便、着替え、入浴、歩行の際、他人の手助けを必要としますか。 (問68-1) 他人の手助けを必要とする項目全てに○をつけて下さい。	ND2010	7.7	1	は	は	は	は	は	は	は	は	は	は	は	は	は	は	は			
							2	い	い	い	い	い	い	い	い	い	い	い	い	い	い	い	い	い	い
ADL (都老研 13項目 セット問)	IADL	問7	問69	(問69-1) バスや電車を使って一人で外出できますか。 (問69-2) 日用品の買い物ができますか。 (問69-3) 食事の用意ができますか。 (問69-4) 請求書の支払いができますか。 (問69-5) 銀行預金・郵便貯金の出し入れが自分でできますか。 (問69-6) 年金などの書類が書けますか。 (問69-7) 新聞を読んでいますか。	ND2010	8.3	1	は	は	は	は	は	は	は	は	は	は	は	は	は	は	は			
							2	い	い	い	い	い	い	い	い	い	い	い	い	い	い	い	い	い	い
		問8	問9	問10	問11	問12	問13	8.3	1	は	は	は	は	は	は	は	は	は	は	は	は	は	は	は	
									2	い	い	い	い	い	い	い	い	い	い	い	い	い	い	い	い
		問9	問10	問11	問12	問13	8.3	1	は	は	は	は	は	は	は	は	は	は	は	は	は	は	は	は	は
								2	い	い	い	い	い	い	い	い	い	い	い	い	い	い	い	い	い
		問10	問11	問12	問13	8.3	1	は	は	は	は	は	は	は	は	は	は	は	は	は	は	は	は	は	は
							2	い	い	い	い	い	い	い	い	い	い	い	い	い	い	い	い	い	い
		問11	問12	問13	8.3	1	は	は	は	は	は	は	は	は	は	は	は	は	は	は	は	は	は	は	は
						2	い	い	い	い	い	い	い	い	い	い	い	い	い	い	い	い	い	い	い
		問12	問13	8.3	1	は	は	は	は	は	は	は	は	は	は	は	は	は	は	は	は	は	は	は	は
					2	い	い	い	い	い	い	い	い	い	い	い	い	い	い	い	い	い	い	い	い
		問13	8.3	1	は	は	は	は	は	は	は	は	は	は	は	は	は	は	は	は	は	は	は	は	は
2	い			い	い	い	い	い	い	い	い	い	い	い	い	い	い	い	い	い	い	い	い		

D	問14	(問69-8) 本や雑誌を読んでいますか。	1 はい 2 いいえ	8.3	6	3	3	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	1	
L	問15	(問69-9) 病人を見舞うことができますか。	1 はい 2 いいえ	8.3	6	3	3	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	1
	問16	(問69-10) 友達の家を訪ねることがありますか。	1 はい 2 いいえ	8.3	6	3	3	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	1
	問17	(問69-11) 健康についての記事や番組に関心がありますか。	1 はい 2 いいえ	8.3	6	3	3	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	1
	問18	(問69-12) 家族や友達の相談にのることがありますか。	1 はい 2 いいえ	8.3	6	3	3	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	1
	問19	(問69-13) 若い人に自分から話しかけることがありますか。	1 はい 2 いいえ	8.3	6	3	3	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	1
	問5	あなたは介護保険を利用していますか。	1 はい 2 いいえ 3 不明	7.6	4	2	5	0	0	1	0	0	0	2	3	2	1	1	0	0	0	1	0
A	介護保険	(問70-1)介護保険の認定はどれですか	1 要支援1 2 要支援2 3 要介護1 4 要介護2 5 要介護3以上 6 不明	6.7	3	1	6	0	0	0	0	1	1	2	3	2	0	2	1	0	0	1	0
L	問20	現在の生活に全体としてどの程度満足していますか。	1 満足 2 まあ満足 3 どちらでもない 4 やや不満 5 不満 6 わからない	7.3	3	3	3	1	2	0	0	0	0	1	4	4	0	1	0	0	0	1	0
Q	QOL	問71	現在あなたは幸福だと思いますか。	7.6	3	4	3	1	1	0	0	0	0	1	5	4	0	0	0	0	0	0	1
O	QOL	問72	「生きがい」や「生活のはり」と感じることがありますか。	7.6	3	4	3	1	1	0	0	0	0	1	5	4	0	0	0	0	0	0	1
L	QOL	問73	「生きがい」や「生活のはり」と感じることがありますか。	7.6	3	4	3	1	1	0	0	0	1	5	4	0	0	0	0	0	0	0	1

NIPPON DATA2020

問診票(案)

(Ver.1.4)

2020年3月10日

【あなたの健康状態についておたずねします】

問1 あなたはこれまでに医療機関や健診で高血圧（血圧が高い）といわれたことがありますか。

- はい いいえ → 問2へ



（問1-1） 問1で「はい」と答えた方におたずねします。高血圧の治療（通院による定期的な検査や生活習慣の改善指導を含む）を受けたことがありますか。

- 過去から現在にかけて継続的に受けている
 過去に中断したことがあるが、現在は受けている
 過去に受けたことがあるが、現在は受けていない
 これまでに治療を受けたことがない

問2 あなたはこれまでに医療機関や健診で血中コレステロール（総コレステロールまたはLDLコレステロール）または中性脂肪が高いといわれたことがありますか。

- はい いいえ → 問3へ



（問2-1） 問2で「はい」と答えた方におたずねします。血中コレステロール・中性脂肪の治療（通院による定期的な検査や生活習慣の改善指導を含む）を受けたことがありますか。

- 過去から現在にかけて継続的に受けている
 過去に中断したことがあるが、現在は受けている
 過去に受けたことがあるが、現在は受けていない
 これまでに治療を受けたことがない

問3 あなたは医師から脳卒中（脳梗塞、脳血栓、脳塞栓、脳出血、くも膜下出血）といわれたことがありますか。

- はい いいえ

問4 あなたは医師から心筋梗塞といわれたことがありますか。

- はい いいえ

問5 あなたは医師から心不全といわれたことがありますか。

- はい いいえ

問6 あなたは医師から心房細動といわれたことがありますか。

はい いいえ

問7 あなたは心臓冠動脈の血行再建術（ステント留置、バイパス術など）を受けたことがありますか。

はい いいえ

問8 あなたは医師から腎臓病または腎機能が低下しているといわれたことがありますか。

はい いいえ

問9 あなたは医師から「がん」といわれたことがありますか。

はい いいえ → 問10へ



（問9-1） 問9で「はい」と答えた方におたずねします。
「がん」といわれた部位すべてに○をつけてください。

胃 大腸 肝臓 肺 乳がん 子宮
血液・リンパ その他（ ） わからない

問10 歯の健康づくりのために、使用している器具すべてに○をつけてください。

歯ブラシ 歯間ブラシ 舌ブラシ
 デンタルフロス・糸（付）ようじ
 使用していない（ゆすぐのみなど）

【あなたの生活習慣についておたずねします】

問1 1 あなたはこの1ヶ月間に自分以外の人が吸っていたたばこの煙を吸う機会（受動喫煙）がありましたか。

* 新型たばこ：加熱式たばこ（プルームテック、アイコス、グローなど）や電子たばこを指す。

（問1 1 - 1）家庭での受動喫煙が1週間合計で1時間以上ありましたか。

- なかった
- 紙巻きたばこの受動喫煙があった
- 新型たばこの受動喫煙があった
- 紙巻きたばこと新型たばこの両方の受動喫煙があった
- 種類は分からないが、受動喫煙があった

（問1 1 - 2）職場での受動喫煙が1週間合計で1時間以上ありましたか。

- なかった
- 紙巻きたばこの受動喫煙があった
- 新型たばこの受動喫煙があった
- 紙巻きたばこと新型たばこの両方の受動喫煙があった
- 種類は分からないが、受動喫煙があった

問1 2 あなたはたばこを吸いますか。

- 毎日吸っている
- 時々吸う日がある
- 以前は吸っていたが、1ヶ月以上吸っていない →問1 2 - 1へ
- 吸わない →問1 3へ

問1 2 - 4へ

（問1 2 - 1）何歳の時にたばこをやめましたか。

（ ）歳

（問1 2 - 2）禁煙した理由について、あてはまるものすべてに○をつけてください。

- 吸いたいと思わなくなった・美味しいと感じなくなった
- 家族や医師に止められたから（健康上の理由）
- 喫煙場所が減ったから
- 経済上の理由
- その他（ ）

問18 あなたは高血圧や糖尿病、高コレステロール、内臓脂肪症候群（メタボリックシンドローム）の予防・改善のために普段の生活で心がけていることがありますか。あてはまるものすべてに○をつけてください。

- 食べ過ぎないようにしている（カロリー制限している）
- 塩分を取りすぎないようにしている（減塩している）
- 脂肪（あぶら分）を取りすぎないようにしている
- 甘いもの（糖分）を取りすぎないようにしている
- 野菜をたくさん食べるようにしている
- 肉に偏らず魚を取るようにしている
- お酒（アルコール）を飲み過ぎないようにしている
- 運動をするようにしている
- 睡眠で休養を充分にとるようにしている
- 気分転換・ストレス解消をするようにしている
- あてはまるものがない

問19 あなたはこの1年間に家庭で体重を測定したことがありますか。

- はい いいえ → 問20へ



（問19-1） 問19で「はい」と答えた方におたずねします。
どのくらいの頻度で測っていますか。

- ほぼ毎日（週に6日以上） 週に3～5日
- 週に1～2日 月2～3日
- 月に1回以下

問20 あなたはこの1年間に家庭で血圧を測定したことがありますか。

- はい いいえ → 問21へ



（問20-1） 問20で「はい」と答えた方におたずねします。
どのくらいの頻度で測っていますか。

- ほぼ毎日（週に6日以上） 週に3～5日
- 週に1～2日 月2～3日月に1回以下

問21 高血圧の原因として正しいと思うものすべてに○をつけて下さい。

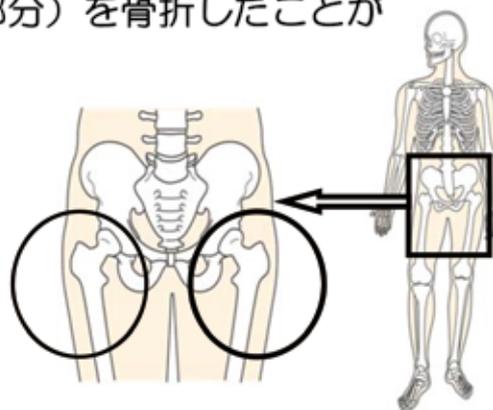
- | | | |
|----------------------------------|-----------------------------------|----------------------------------|
| <input type="checkbox"/> 肥満 | <input type="checkbox"/> 運動不足 | <input type="checkbox"/> 喫煙 |
| <input type="checkbox"/> 塩分の摂りすぎ | <input type="checkbox"/> 野菜や果物の不足 | <input type="checkbox"/> お酒の飲み過ぎ |
| <input type="checkbox"/> 睡眠不足 | <input type="checkbox"/> 牛乳の飲み過ぎ | <input type="checkbox"/> 緑茶の飲み過ぎ |

問22 心筋梗塞または脳卒中の原因として正しいと思うものすべてに○をつけて下さい。

- | | | |
|---|-------------------------------------|------------------------------|
| <input type="checkbox"/> 高血圧 | <input type="checkbox"/> 高コレステロール血症 | <input type="checkbox"/> 糖尿病 |
| <input type="checkbox"/> 痛風（高尿酸血症） | <input type="checkbox"/> 肝機能障害（脂肪肝） | <input type="checkbox"/> 喫煙 |
| <input type="checkbox"/> 不整脈 | <input type="checkbox"/> 腎障害（蛋白尿） | <input type="checkbox"/> 貧血 |
| <input type="checkbox"/> HDL コレステロール（善玉コレステロール）低値 | | |

問23 これまでに大腿骨頸部（足の付け根部分）を骨折したことがありますか。

- はい いいえ



（問23-1）問23で「はい」と答えた方におたずねします。
それはいつ頃ですか。

（大正・昭和・平成・令和_____年頃）

【日常生活動作についておたずねします】

問24 あなたは食事、排尿・排便、着替え、入浴、歩行の際、他人の手助けを必要としますか。

はい いいえ → 問25へ



(問24-1) 問24で「はい」と答えた方におたずねします。他人の手助けを必要とするものすべてに○をつけて下さい。

食事 排尿・排便 着替え
 入浴 歩行

問25 毎日の生活について、あてはまる番号1つずつに○をつけて下さい。
 (「普段している/していない」ではなく、「やろうと思えばできる」かを考えてお答えください)

	はい	いいえ
1 バスや電車を使って一人で外出できますか	1	2
2 日用品の買い物ができますか	1	2
3 食事の用意ができますか	1	2
4 請求書の支払いができますか	1	2
5 銀行預金・郵便貯金の出し入れが自分でできますか	1	2
6 年金などの書類が書けますか	1	2
7 新聞を読んでいますか	1	2
8 本や雑誌を読んでいますか	1	2
9 病人を見舞うことができますか	1	2
10 友達の家を訪ねることがありますか	1	2
11 健康についての記事や番組に関心がありますか	1	2
12 家族や友達の相談にのることがありますか	1	2
13 若い人に自分から話しかけることがありますか	1	2

問26 あなたは介護保険を利用していますか。

はい いいえ わからない

【ストレスや心の元気さについておたずねします】

問27 心の元気さについておたずねします。過去1カ月間についてお答えください。次のア～カそれぞれの質問について、あてはまる番号1つずつに○をつけて下さい。

	いつも	たいてい	時々	少しだけ	まったく ない
1 神経過敏に感じましたか	1	2	3	4	5
2 絶望的だと感じましたか	1	2	3	4	5
3 そわそわ、落ち着かなく感じましたか	1	2	3	4	5
4 気分が沈みこんで、何が起ころうとも気が晴れないように感じましたか	1	2	3	4	5
5 何をするのも骨折りだと感じましたか	1	2	3	4	5
6 自分が価値のない人間だと感じましたか	1	2	3	4	5

問28 現在の生活に全体としてどの程度満足していますか。

- 満足 まあ満足 どちらでもない
 やや不満 不満 わからない

問29 現在あなたは幸福だと思いますか。

- 思う まあまあ思う どちらでもない
 思わない わからない

問30 「生きがい」や「生活のはり」「いきいきと生きている」と感じることはありませんか。

- ある ときどきある
 ない わからない

【以下は女性の方だけにおたずねします】

問35 現在、月経（生理）はありますか。

ある 閉経した（自然に） 閉経した（手術で）



（問35-1）閉経したのは何歳頃ですか。（ ）歳

問36 妊娠の経験はありますか。

はい（ ）回 いいえ

問37 出産の経験はありますか。

はい（ ）回 いいえ



（問37-1）

問37で「はい」と答えた方におたずねします。

あわせて何人出産されましたか。（ ）人

はじめての出産は何歳でしたか。（ ）歳

質問は以上で終わりです。
ご協力いただきありがとうございました。

令和元年8月20日全国保健所長会理事会

厚生労働行政推進調査事業費補助金
循環器疾患・糖尿病等生活習慣病対策総合研究事業
「新旧(1980-2020年)のライフスタイルからみた国民代表集団大規模コホート研究:
NIPPON DATA80/90/2010/2020 (H30-循環器等-指定-002)」
研究代表者 滋賀医科大学社会医学講座 教授 三浦克之

令和2年国民健康・栄養調査の参加者を対象とした研究班調査 (NIPPON DATA 2020)の実施へのご協力をお願い

1. 目的と意義

健康日本21(第2次)の重要課題である健康格差(地域格差や世代間格差)を是正し、また、わが国の循環器疾患等生活習慣病予防対策を立案するためには、国民の代表集団を長期間追跡するコホート研究を実施し、刻々と変化する日本国民特有のライフスタイルや社会環境における生活習慣病リスク要因を明らかにする必要があります。当研究班はそのために1980/1990年循環器疾患基礎調査および2010年国民健康・栄養調査の対象集団、計2万人超の長期コホート研究NIPPON DATA80/90/2010を厚労省指定研究として継続してきました。その成果は健康日本21、標準的な健診・保健指導プログラム、各種学会ガイドライン作成等活用されています。

国民健康・栄養調査は、全ての都道府県を網羅する国内唯一の調査です。2020年(令和2年)国民健康・栄養調査は拡大調査年であり、通常の3倍規模(約1万人)の調査が予定されています。本研究は、同調査の参加者を対象として大規模かつ最新の国民集団の長期コホート研究NIPPON DATA2020を開始し、日本国民の新たな生活習慣病リスク要因や健康格差を明らかにし、予防施策の優先順位を提案することを目的としています。

NIPPON DATA2020の実施により1980年から2020年まで40年間の国民代表集団のライフスタイルの変化とその生活習慣病への影響の大きさの変化を明らかにし、次期国民健康づくり運動策定における優先的課題に関する提言が可能となります。

2. 令和2年NIPPON DATA2020調査実施計画(予定)

2020年10-11月、全国約500カ所で開催される国民健康・栄養調査の各調査会場にて、研究班が雇用する調査員が研究への参加同意を取得し、追加の調査を実施する。

- ① 予定対象者数： 国民健康・栄養調査の参加者 20歳以上の男女 約1万人
- ② 予定実施内容：
 - (1) 本研究への参加と長期追跡の同意を取得
 - (2) 生活習慣等に関する自記式質問調査
 - (3) 採尿容器の配布(後日、対象者より研究班に返送頂く)
 - (4) 国民健康・栄養調査項目の転記(世帯番号・世帯番号・検体番号等)
(後日、残血清の保存、国民健康・栄養調査結果を突合する際に必要)
- ③ 血液・尿検査測定項目：血液検査 クレアチニン等を計画(1年後を予定)
尿検査 ナトリウム、カリウム、蛋白等

3. 2020年（令和2年）国民健康・栄養調査実施保健所にご協力いただきたい事項

- ① 国民健康・栄養調査実施会場にて研究班調査を同時実施する事をご了承ください。
（研究班調査の実施・残血清の供与についての覚え書き等）
- ② 研究班調査員の雇用候補者（各調査地区2名程度）（地域の管理栄養士、保健師等）
をご推薦ください。
- ③ 研究班調査についての打合せ等にご協力ください（令和2年6月頃予定）
（調査スペースの確保、調査当日の作業流れ、等ご相談申し上げます）

4. 今後の予定

【令和元年度（年度末）】

- ①生活習慣等に関する調査票内容、②血液・尿検体測定項目、③追跡同意取得・アウトカム
について、厚生労働省と協議し、決定する。

【令和2年度】

- 6月 令和2年国民健康・栄養調査・地区の確定
国民健康・栄養調査説明会にて研究班調査内容のご説明
- 7月 各自治体、各調査地区の保健所とのご相談を開始する
・調査実施に関する覚え書き
・研究班調査員の雇用候補者のご相談→雇用
・研究班調査についての打合せ等（調査スペースの確保、調査当日の作業流れ、等）
- 8月 研究班調査員に対して研修を実施する
- 10-11月 令和2年国民健康・栄養調査および研究班調査の実施

5. 研究班メンバー

研究代表者

滋賀医科大学社会医学講座公衆衛生学部門・教授 三浦克之

研究分担者

帝京大学医学部衛生学公衆衛生学講座・教授 大久保孝義

慶應義塾大学医学部衛生学公衆衛生学・教授 岡村智教

合同会社生活習慣病予防研究センター・代表 岡山明

人間総合科学大学人間科学部健康栄養学科・教授 奥田奈賀子

浜松医科大学医学部健康社会医学講座・教授 尾島俊之

滋賀医科大学社会医学講座公衆衛生学部門・准教授 門田文

敦賀市立看護大学看護学部看護学科・教授 喜多義邦

国立研究開発法人医薬基盤・健康・栄養研究所国際栄養情報センター・センター長 西信雄

立命館大学衣笠総合研究機構地域健康社会学研究センター・教授 早川岳人

国立循環器病研究センター予防健診部・部長 宮本恵宏

大阪市立大学大学院生活科学研究科食・健康科学講座公衆栄養学・教授 由田克士

令和2年1月10日

各都道府県 国民健康・栄養調査 ご担当者 各位

令和元年度厚生労働行政推進調査事業費補助金
(循環器疾患・糖尿病等生活習慣病対策総合研究事業)

「新旧(1980-2020年)のライフスタイルからみた国民代表集団大規模コホート研究:
NIPPON DATA80/90/2010/2020」(H30-循環器等-指定-002)

研究代表者 三浦 克之

(滋賀医科大学社会医学講座公衆衛生学部門 教授)

(滋賀医科大学アジア疫学研究センター センター長)

貴自治体における国民健康・栄養調査の実施に関するおたずね

拝啓 時下ますますご清祥のこととお慶び申し上げます。平素より厚生労働科学研究費補助金によるNIPPON DATA 研究にご協力を賜り、誠に有り難うございます。

さて、次年度の令和2年(2020年)国民健康・栄養調査の受検者を対象として、平成22年度(2010年)に引き続き本研究班による追加調査(NIPPON DATA 2020)の実施を計画しております。そこで、全都道府県の国民健康・栄養調査の担当部門を対象に国民健康・栄養調査の実施に関するアンケート調査を実施しております。ご多忙のところ恐れ入りますが、ご協力のほどよろしくお願い申し上げます。本調査は貴都道府県内の保健所政令市等には実施しておりませんが、貴都道府県の状況のみ回答いただければ結構です。NIPPON DATA 研究については添付の参考資料をご参照下さい。

お手数ですが、別紙アンケート用紙にご回答の上、1月24日(金)までに ファックスにて研究班事務局までご返信下さいますようお願い申し上げます。

また、調査実施に関するご相談のため、2月中旬以降、本研究班の各地区担当者より貴自治体にご連絡させていただく予定ですので、その節はどうぞよろしくお願い申し上げます。

ご不明な点等ございましたら、下記の事務局担当までお問い合わせ下さい。今後も本調査の実施にむけてご協力いただければ幸甚です。

敬具

問い合わせ:

NIPPON DATA 2020 事務局

〒520-2192 滋賀県大津市瀬田月輪町

滋賀医科大学 アジア疫学研究センター

TEL 077-548-2476 FAX 077-543-4800 E-mail: nd2020@belle.shiga-med.ac.jp

担当 門田、近藤、吉田

FAX 送信先

滋賀医科大学 アジア疫学研究センター (ファックス: 077-543-4800)

NIPPON DATA 2020 事務局 担当 吉田 宛

1月24日(金)までにご返信をお願いいたします。

ファックス送信先

滋賀医科大学 アジア疫学研究センター (ファックス: 077-543-4800)

NIPPON DATA 2020 事務局 担当 吉田 宛

令和元年度厚生労働行政推進調査事業費補助金(循環器疾患・糖尿病等生活習慣病対策総合研究事業)「新旧(1980-2020年)のライフスタイルからみた国民代表集団大規模コホート研究:NIPPON DATA80/90/2010/2020」

【国民健康・栄養調査の実施に関するおたずね】

発信元

自治体名 _____

ご所属 _____

お名前 _____

1 貴自治体の国民健康・栄養調査担当者のご氏名、ご連絡先を下記にご記入ください。
また、例年の人事異動の時期をご教示下さい

部署名	担当者名	連絡先 電話番号など
		電話番号: E-mail:
		電話番号: E-mail:

人事異動の時期: 毎年()月()日頃

2 令和元年度の国民健康・栄養調査についておたずねします。

貴自治体の血液検査はいずれの検査機関に委託されましたか。契約はいつでしたか。
また、令和2年度の委託先は、変更の可能性はありますか。例年、いつ頃確定しますか。

検査機関名: 1 SRL 2 BML 3 その他 ()

契約時期: 令和元年 ()月()日

令和2年度: 1 委託先変更の可能性なし

2 変更の可能性あり ⇔ ()月()日頃 に確定予定

3 令和元年度の国民健康・栄養調査についておたずねします。
貴自治体における国民健康・栄養調査の身体状況調査の当日実施はどなたが担当されましたか(複数選択可)。

- 1 保健所職員
- 2 臨時雇用した者
- 3 委託健診機関(健診機関名: _____)
- 4 その他(_____)

4 令和2年度の国民健康・栄養調査についておたずねします。
貴自治体は、国民健康・栄養調査に都道府県民栄養調査等を追加実施する予定はありますか。

- 1 予定あり
※ ありの場合、
 - ①追加の血液検査を予定していますか。 予定あり 予定なし
 - ②調査対象者の追加を予定していますか。 予定あり 予定なし
- 2 予定なし
- 3 その他(_____)

5 研究班による追加調査については、地元の健診機関への委託も検討しています。貴都道府県内の市町村において、健診等を委託している代表的な健診機関をもしご存じでしたら、ご記入いただければ幸いです(空欄でも結構です)。

その他、連絡事項、ご質問等がございましたら 以下にご記入ください。

質問は以上です。ご協力いただき誠にありがとうございました。

都道府県・保健所設置市・特別区 担当者殿

厚生労働行政推進調査事業費補助金
循環器疾患・糖尿病等生活習慣病対策総合研究事業
「新旧（1980-2020年）のライフスタイルからみた国民代表集団大規模コホート研究：
NIPPON DATA80/90/2010/2020（H30-循環器等-指定-002）」
研究代表者 滋賀医科大学社会医学講座 教授 三浦克之

2020年国民健康・栄養調査対象者の追跡研究 NIPPON DATA2020 へのご協力のお願い

平素より厚生労働省指定研究 NIPPON DATA へのご協力をいただき誠にありがとうございます。また、2010年の国民健康・栄養調査において実施した NIPPON DATA2010 ではご協力いただき誠にありがとうございました。全都道府県および該当する全ての保健所設置自治体のご協力を得て実施することができ、全国約3000人の対象者の長期追跡を続けております。その後10年が経過し、この度、下記のように、2020年の国民健康・栄養調査の参加者を対象とした長期追跡研究 NIPPON DATA2020 を厚生労働省指定研究として実施する方向となりました。本研究におきましても貴自治体のご協力を賜りたく、何卒よろしくお願ひ申し上げます。

記

1. 研究目的

健康日本21（第2次）の重要課題である健康格差（地域格差や世代間格差）を是正し、また、わが国の循環器疾患等生活習慣病予防対策を立案するためには、国民の代表集団を長期間追跡するコホート研究を実施し、刻々と変化する日本国民特有のライフスタイルや社会環境における生活習慣病リスク要因を明らかにする必要があります。当研究班はそのために1980/1990年循環器疾患基礎調査および2010年国民健康・栄養調査の対象集団、計2万人超の長期コホート研究 NIPPON DATA80/90/2010 を厚労省指定研究として継続してきました。その成果は健康日本21、標準的な健診・保健指導プログラム、各種学会ガイドライン作成等に活用されています。

2020年（令和2年）国民健康・栄養調査は拡大調査が予定されています。本研究は、同調査の参加者を対象として大規模かつ最新の国民集団の長期コホート研究 NIPPON DATA2020 を開始し、日本国民の新たな生活習慣病リスク要因や健康格差を明らかにし、次期国民健康づくり運動策定における優先的課題に関する提言を行うことを目的としています。

2. 都道府県・保健所設置市・特別区にご協力いただきたい事項

以下の事項へのご協力をお願い致します。

- 国民健康・栄養調査実施会場における本調査の実施スペース確保（2名の研究班調査員による

同意取得および追加質問調査のため)

- 国民健康・栄養調査対象者に対する本調査の実施案内（チラシ事前配布、国民健康・栄養調査説明会の場等における紹介、等）
- 国民健康・栄養調査における残余血液検体の研究班への提供
- 国民健康・栄養調査項目の転記許可（世帯番号・世帯番号・検体番号、身体状況調査票等）（後日、残血清の保存、国民健康・栄養調査結果を突合する際に必要）
- 研究班調査の実施・残血清の供与についての研究班との覚え書き締結
- 各地区担当の研究班メンバー（研究協力者）・委託健診機関との事前打合せ

3. 調査方法

本調査では、令和2年国民健康・栄養調査に参加する20歳以上の成人男女を対象として、下記項目の調査を実施します。さらに、対象者の将来の健康状態（循環器疾患等の生活習慣病の発症、死亡）についての追跡調査を開始します。以上の実施のため、国民健康・栄養調査実施に合わせて、調査参加の同意を対象者本人から取得します。

(1) 調査対象者

令和2年国民健康・栄養調査に参加する20歳以上の成人男女（各道府県10カ所、東京都15カ所、計475カ所の見込み。1カ所あたりの参加者は20-50人を予測。計1万人前後の同意者を予測。）

(2) 調査項目

本調査における追加調査項目は以下の通りです。

- 生活習慣病などの健康状態や生活習慣に関する追加質問調査
- 採尿容器の配付（各自で尿検体を郵送いただく）（ナトリウム、カリウム、蛋白の測定）
- 国民健康・栄養調査項目の転記（世帯番号・世帯番号・検体番号、身体状況調査票等）（後日、残血清の保存、国民健康・栄養調査結果を突合する際に必要）
- 残血清の保存

(3) 調査実施について

- 同意の取得や研究班に関わる調査は、研究班が委託する協力健診機関等の調査員が実施します。
- 本調査の調査員が国民健康・栄養調査対象者に対して本調査の目的を説明し、本調査への参加・追跡調査等について書面にて同意を取得します。
- 本調査の調査内容は、参加者の負担を最小限にするため、令和2年国民健康・栄養調査の調査内容と重複しないものとします。そのため、国民健康・栄養調査で得られる調査データについては、後日研究班より国に目的外使用申請を行って取得し、研究班のデータと結合して解析します。
- 国民健康・栄養調査の残余血清を将来の検査のために研究班で保存します。
- 本調査による検査結果（尿検査など）は、アドバイス等とともに研究班から参加者本人に後日送付します。

4. 倫理的配慮

本調査は、「人を対象とする医学系研究に関する倫理指針」を遵守して実施されます。調査参加者に対しては文書による説明と同意取得を行います。研究計画は滋賀医科大学倫理審査委員会にて審査され、承認を得ます。

5. 個人情報保護

個人の特定が可能な氏名・生年月日・連絡先等の個人識別情報は、滋賀医科大学内の施設された場所で厳重に管理され、研究終了後は復元不可能な形で破棄されます。全ての電子データは、外部から隔離された滋賀医科大学内のサーバーで厳重に保管されます。

6. 費用負担に関する事項

本研究は、厚生労働行政推進調査事業費補助金(指定型)によって実施されます。研究参加者および実施都道府県・保健所設置市の費用負担は発生しません。

7. 本研究で得られたデータの自治体における活用等について

本研究で得られたデータについては、研究班の報告書等、集計結果を実施都道府県・保健所設置市に送付し、各自治体における健康づくり施策の計画や評価に活用されるよう配慮します。

8. 今後の予定

- 6月 令和2年国民健康・栄養調査・地区の確定
厚労省における国民健康・栄養調査説明会にて研究班調査内容のご説明
- 7月 各自治体、各調査地区の保健所とのご相談を開始
 - ・調査実施に関する覚え書き締結
 - ・各地区担当の協力研究者、協力健診機関との打合せ
- 10-11月 令和2年国民健康・栄養調査および研究班調査の実施

9. お問い合わせ先

NIPPON DATA2020 中央事務局 (NIPPON DATA 研究班事務局内)
滋賀医科大学アジア疫学研究センター 〒520-2192 滋賀県大津市瀬田月輪町
Tel: 077-548-2476 Fax: 077-543-4800 E-mail: nd2020@belle.shiga-med.ac.jp

10. 研究班メンバー

研究代表者

三浦克之 (滋賀医科大学社会医学講座公衆衛生学部門・教授)

研究分担者

- 大久保孝義 (帝京大学医学部衛生学公衆衛生学講座・教授)
- 岡村智教 (慶應義塾大学医学部衛生学公衆衛生学・教授)
- 岡山明 (合同会社生活習慣病予防研究センター・代表)
- 奥田奈賀子 (人間総合科学大学人間科学部健康栄養学科・教授)
- 尾島俊之 (浜松医科大学医学部健康社会医学講座・教授)
- 門田文 (滋賀医科大学社会医学講座公衆衛生学部門・准教授)
- 喜多義邦 (敦賀市立看護大学看護学部看護学科・教授)
- 西信雄 (国立研究開発法人医薬基盤・健康・栄養研究所国際栄養情報センター・センター長)
- 早川岳人 (立命館大学衣笠総合研究機構地域健康社会学研究センター・教授)
- 宮本恵宏 (国立循環器病研究センター予防健診部・部長)

由田克士（大阪市立大学大学院生活科学研究科食・健康科学講座公衆栄養学・教授）

研究協力者（各地区担当者）

北海道・東北

大西浩文（札幌医科大学医学部公衆衛生学講座 教授）

斎藤重幸（札幌医科大学保健医療学部看護学科基礎臨床医学講座 教授）

坂田清美（岩手医科大学医学部衛生学公衆衛生学講座 教授）

寶澤篤（東北大学東北メディカル・メガバンク機構予防医学・疫学部門 教授）

野村恭子（秋田大学大学院医学系研究科衛生学・公衆衛生学講座 教授）

関東

中村好一（自治医科大学地域医療学センター公衆衛生学部門 教授）

荒井裕介（千葉県立保健医療大学健康科学部栄養学科 准教授）

村上義孝（東邦大学医学部社会医学講座医療統計学分野 教授）

杉山大典（慶應義塾大学看護医療学部 教授）

中部

田邊直仁（新潟県立大学人間生活学部・健康栄養学科 教授）

中川秀昭（金沢医科大学総合医学研究所 嘱託教授）

櫻井勝（金沢医科大学医学部衛生学講座 准教授）

山縣然太郎（山梨大学大学院総合研究部医学域社会医学講座 教授）

中村美詠子（浜松医科大学医学部健康社会医学講座 准教授）

八谷寛（藤田医科大学医学部公衆衛生学 教授）

近畿

宮松直美（滋賀医科大学看護学科臨床看護学講座 教授）

上原里程（京都府立医科大学地域保健医療疫学 教授）

岩橋明子（帝塚山大学現代生活学部食物栄養学科 准教授）

高嶋直敬（近畿大学医学部公衆衛生学教室 准教授）

渡邊至（国立循環器病研究センター予防健診部 医長）

東山綾（国立循環器病研究センター予防健診部 医長）

田中英夫（大阪府藤井寺保健所 所長）

藤吉朗（和歌山県立医科大学医学部衛生学講座 教授）

中国・四国

神田秀幸（岡山大学大学院医歯薬学総合研究科公衆衛生学分野 教授）

久松隆史（岡山大学大学院医歯薬学総合研究科公衆衛生学分野 准教授）

九州

二宮利治（九州大学大学院医学研究院衛生・公衆衛生学分野 教授）

有馬久富（福岡大学医学部衛生・公衆衛生学教室 教授）

斉藤功（大分大学医学部公衆衛生・疫学講座 教授）

嶽崎俊郎（鹿児島大学大学院医歯薬学総合研究科国際島嶼医療学講座 教授）

中村幸志（琉球大学大学院医学研究科衛生学・公衆衛生学講座 教授）

令和2年2月20日

公益財団法人 予防医学事業中央会
理事長 櫻林 郁之介 様
各都道府県支部 支部長様

厚生労働行政推進調査事業費補助金
循環器疾患・糖尿病等生活習慣病対策総合研究事業
「新旧（1980-2020年）のライフスタイルからみた国民代表集団大規模コホート研究：
NIPPON DATA80/90/2010/2020（H30-循環器等-指定-002）」
研究代表者 滋賀医科大学社会医学講座 教授 三浦克之

2020年国民健康・栄養調査対象者の追跡研究 NIPPON DATA2020 へのご協力をお願い

平素より厚生労働省指定研究 NIPPON DATA へのご協力をいただき誠にありがとうございます。
この度、下記のように、2020年の国民健康・栄養調査の参加者を対象とした長期追跡研究 NIPPON DATA2020 を厚生労働省指定研究として実施する方向となりました。貴会および貴会の各都道府県支部のご協力をぜひ賜りたく、何卒よろしくお願い申し上げます。

記

1. 研究目的

健康日本 21（第2次）の重要課題である健康格差（地域格差や世代間格差）を是正し、また、わが国の循環器疾患等生活習慣病予防対策を立案するためには、国民の代表集団を長期間追跡するコホート研究を実施し、刻々と変化する日本国民特有のライフスタイルや社会環境における生活習慣病リスク要因を明らかにする必要があります。本研究班はそのために1980/1990年循環器疾患基礎調査および2010年国民健康・栄養調査の対象集団、計2万人超の長期コホート研究 NIPPON DATA80/90/2010 を厚労省指定研究として継続してきました。その成果は健康日本 21、標準的な健診・保健指導プログラム、各種学会ガイドライン作成等に活用されています。

2020年（令和2年）国民健康・栄養調査は拡大調査が予定されています。本研究は、同調査の参加者を対象として大規模かつ最新の国民集団の長期コホート研究 NIPPON DATA2020 を開始し、日本国民の新たな生活習慣病リスク要因や健康格差を明らかにし、次期国民健康づくり運動策定における優先的課題に関する提言を行うことを目的としています。

2. 令和2年 NIPPON DATA2020 調査実施計画（予定）

2020年10-11月に、全国475カ所（予定）（各都道府県で原則10カ所）で実施される国民健康・栄養調査の各調査会場にて、研究班が委託する調査員（協力健診機関スタッフ2名）が研究への参加同意を取得し、追加の調査を実施する。

- ① 予定対象者数： 国民健康・栄養調査の参加者 20歳以上の男女 約1万人
- ② 予定実施内容： (1) 本研究への参加と長期追跡の同意を取得
(2) 生活習慣等に関する自記式質問調査
(3) 採尿容器の配布（後日、対象者より研究班に返送頂く）
(4) 国民健康・栄養調査項目の転記
（世帯番号・世帯員番号・検体番号・身体状況調査票等）
（後日、残血清の保存、国民健康・栄養調査結果を突合する際に必要）
- ③ 血液・尿検査測定項目：血液検査 クレアチニン等を計画(1年後を予定)
尿検査 ナトリウム、カリウム、蛋白等

3. 予防医学事業中央会にご協力いただきたい事項

- ① 研究協力機関として、本研究へのご参加をお願い致します。
（研究班報告書に研究協力機関として記載させていただきます）
- ② 貴会の全国各地の支部に対して、本研究への協力依頼を発出いただければ幸いです。
- ③ 今後、各都道府県担当の研究協力者（大学等の研究者）が、貴会の各都道府県支部への業務委託を進める際、貴会からのお口添え等をお願いできれば幸いです。

4. 各都道府県支部にご協力いただきたい事項

- ① 協力健診機関として本研究へのご参加をお願い致します。
（研究班報告書に協力健診機関として記載させていただきます）
- ② 各都道府県の調査実施場所（10カ所。東京都のみ15カ所（予定））での、研究班調査実施業務を委託させて頂きたく存じます（研究班事務局（滋賀医科大学）と各健診機関との間で委託契約し、研究班から委託料の支払いを行う）。
委託業務： 各調査場所（国民健康・栄養調査実施場所）に2名のスタッフを派遣。
（10-11月（一日/カ所） 各調査場所の対象者は20-50人を予想）
同意の取得、問診の実施、国民健康・栄養調査からの転記、尿容器説明
事前に各保健所と調査日・調査場所についての協議（7月～）
事前の調査実施方法の研修（eラーニングまたは地区別研修会出席）（8月）
委託希望額： 1カ所あたり25,000円（交通費含）（10カ所で250,000円）
（地域の特性に応じてご相談させていただきます）
（事前に実施する地区別研修会については、別途、お支払いいたします。）

5. 今後の予定

- 2-5月 各都道府県の地区担当者（大学等の研究者）が各都道府県および健診機関に協力依頼
各都道府県の協力健診機関への業務委託、委託契約
- 6月 令和2年国民健康・栄養調査・地区の確定
- 7月 各自治体（都道府県および保健所設置市）、各調査地区の保健所との相談を開始
協力健診機関と自治体の打合せ（調査スペースの確保、調査当日の作業流れ、等）
- 8月 協力健診機関の調査員に対して研修を実施
- 10-11月 令和2年国民健康・栄養調査および研究班調査の実施

6. お問い合わせ先

NIPPON DATA2020 中央事務局（NIPPON DATA 研究班事務局内）
滋賀医科大学アジア疫学研究センター 〒520-2192 滋賀県大津市瀬田月輪町
Tel: 077-548-2476 Fax: 077-543-4800 E-mail: nd2020@belle.shiga-med.ac.jp

7. 研究班メンバー

研究代表者

三浦克之（滋賀医科大学社会医学講座公衆衛生学部門・教授）

研究分担者

大久保孝義（帝京大学医学部衛生学公衆衛生学講座・教授）
岡村智教（慶應義塾大学医学部衛生学公衆衛生学・教授）
岡山明（合同会社生活習慣病予防研究センター・代表）
奥田奈賀子（人間総合科学大学人間科学部健康栄養学科・教授）
尾島俊之（浜松医科大学医学部健康社会医学講座・教授）
門田文（滋賀医科大学社会医学講座公衆衛生学部門・准教授）
喜多義邦（敦賀市立看護大学看護学部看護学科・教授）
西信雄（国立研究開発法人医薬基盤・健康・栄養研究所国際栄養情報センター・センター長）
早川岳人（立命館大学衣笠総合研究機構地域健康社会学研究センター・教授）
宮本恵宏（国立循環器病研究センター予防健診部・部長）
由田克士（大阪市立大学大学院生活科学研究科食・健康科学講座公衆栄養学・教授）

研究協力者（各地区担当者）

北海道・東北

大西浩文（札幌医科大学医学部公衆衛生学講座 教授）
斎藤重幸（札幌医科大学保健医療学部看護学科基礎臨床医学講座 教授）
坂田清美（岩手医科大学医学部衛生学公衆衛生学講座 教授）
寶澤篤（東北大学東北メディカル・メガバンク機構予防医学・疫学部門 教授）
野村恭子（秋田大学大学院医学系研究科衛生学・公衆衛生学講座 教授）

関東

- 中村好一（自治医科大学地域医療学センター公衆衛生学部門 教授）
- 荒井裕介（千葉県立保健医療大学健康科学部栄養学科 准教授）
- 村上義孝（東邦大学医学部社会医学講座医療統計学分野 教授）
- 杉山大典（慶應義塾大学看護医療学部 教授）

中部

- 田邊直仁（新潟県立大学人間生活学部・健康栄養学科 教授）
- 中川秀昭（金沢医科大学総合医学研究所 嘱託教授）
- 櫻井勝（金沢医科大学医学部衛生学講座 准教授）
- 山縣然太朗（山梨大学大学院総合研究部医学域社会医学講座 教授）
- 中村美詠子（浜松医科大学医学部健康社会医学講座 准教授）
- 八谷寛（藤田医科大学医学部公衆衛生学 教授）

近畿

- 宮松直美（滋賀医科大学看護学科臨床看護学講座 教授）
- 上原里程（京都府立医科大学地域保健医療疫学 教授）
- 岩橋明子（帝塚山大学現代生活学部食物栄養学科 准教授）
- 高嶋直敬（近畿大学医学部公衆衛生学教室 准教授）
- 渡邊至（国立循環器病研究センター予防健診部 医長）
- 東山綾（国立循環器病研究センター予防健診部 医長）
- 田中英夫（大阪府藤井寺保健所 所長）
- 藤吉朗（和歌山県立医科大学医学部衛生学講座 教授）

中国・四国

- 神田秀幸（岡山大学大学院医歯薬学総合研究科公衆衛生学分野 教授）
- 久松隆史（岡山大学大学院医歯薬学総合研究科公衆衛生学分野 准教授）

九州

- 二宮利治（九州大学大学院医学研究院衛生・公衆衛生学分野 教授）
- 有馬久富（福岡大学医学部衛生・公衆衛生学教室 教授）
- 斉藤功（大分大学医学部公衆衛生・疫学講座 教授）
- 嶽崎俊郎（鹿児島大学大学院医歯学総合研究科国際島嶼医療学講座 教授）
- 中村幸志（琉球大学大学院医学研究科衛生学・公衆衛生学講座 教授）